

## 私と猫

動画リンク: <https://youtu.be/5E5uvT6ImSI>

今回は「私と猫」を学びながら、日本語を勉強しましょう。  
この動画は、前半は少しゆっくりのスピードで、漢字にはふりがながあります。  
後半は少しだけ速く(+20%)なり、漢字にふりがなはありません。  
学習にお役立てください。

### ■私と猫の自己紹介

こんにちは、田中隼人です。  
年齢は29歳です。  
東京で独り暮らしをしています。  
人間は私一人ですが、猫が一匹います。  
今日は、そんな私との暮らしについて紹介したいと思います。

猫の名前は「モモ」といいます。  
モモは、私が1歳のときに里親制度を通して迎えた雑種の女の子です。  
モモは、元気に育ち、今は5歳です。  
里親制度というのは、動物を新しい家族として迎える仕組みのことです。捨てられた動物や保護された動物を、新しい飼い主として引き取ることで、動物たちに新しい家を提供します。私はこの制度を通じてモモと出会い、家族になりました。

名前を「モモ」にしたのは、初めて見たときに、ふわふわしていて果物の桃みたいだったからです。それに、モモという名前は日本ではよく使われる名前で、かわいらしい響きなのでモモという名前に決めました。  
響きというのは、言葉の音のことです。

モモとの生活は毎日楽しいです。  
モモのおかげでいつも元気をもらっています。

### ■猫の基本的な特徴

モモは、とても元気で遊ぶのが大好きな猫です。  
猫は一般的に独立心が強いと言われていますが、モモは私のそばにいるのが好きで、よく一緒に過ごしています。特に、夜になると私の足元で寝ることが多いです。モモが足元にきたときは、私はなるべく動かないように気をつけます。モモが私の足元にいるときに、私が足を動かすとモモはすぐにどこかに行ってしまう。

猫は肉食動物なので、モモには主にキャットフードを与えています。ときどき、特別な日におやつとして少しだけ鶏肉をあげることもあります。モモに鶏肉をあげるときは、とても新鮮な鶏肉を少しだけあげるようにしています。  
新鮮というのは新しいという意味です。

鶏肉が新鮮でなかったり、たくさんの量をあげたりすることはあまり良くないと動物病院の先生が言っていました。

そのため私は動物病院の先生からの教えを守っています。

モモに鶏肉をあげると、とても喜びます。

とても喜ぶので、ついいたくさんあげたくなってしまうこともあります。たくさんあげないように気をつけています。

また、モモはトイレも自分でしっかり使うので、毎日きれいに掃除してあげるようにしています。

モモはいつもおしっこをした10分後くらいにうんちをします。

うんちをしようとしたときに、少し前に自分がしたおしっこがきれいに掃除されていないと、うんちをしません。

うんちをしたいときにしないことは便秘や病気の原因になるので、私はモモがおしっこをしたらすぐにトイレをきれいにするようにしています。

猫がトイレをしたとき、砂をかけます。

これは、自分のおしっこやうんちを隠しています。

なぜ、そんなことをするのかというと、野生の本能で敵にみつからないようにするためです。

こういう行動を「猫の習性」といいます。

健康管理も大切です。年に1回、動物病院で健康診断を受けさせています。病気にかからないように、毎日の食事や運動に気をつけています。モモはあまり外に出ないので、家の中で一緒に遊んだり、ときどきおもちゃを使って運動させたりしています。

猫と暮らすうえで大切なのは、猫が自分のペースで過ごせる環境を作ることです。猫は考えることも行動も自由を好む動物です。そのため、私はモモを無理に抱っこしたり、遊びすぎたりしないようにしています。この点が犬とは全然違います。

#### ■猫と日本の生活

日本で猫を飼う場合、特に賃貸物件に住んでいる場合は、動物を飼うことができる物件でないと猫を飼うことができません。

動物といっても、犬や猫、フェレットやハムスターなど、いろんな動物がいます。

猫は飼ってもいいけど犬はダメです。という物件もあるので、よく確認をする必要があります。

ペットが飼える物件は、通常の賃貸物件に比べて少し家賃が高くなることが多いです。その理由は、人間以外に動物が暮らすことによって部屋が汚れたり、傷ついたり、動物のニオイが染み付いたりするリスクがあるからです。

だから、家賃を少し高くしたい大家さんの気持ちも私はわかります。

そして、家賃が高くなるからといって、不動産屋や大家さんに内緒で動物を飼うことはいけないことです。

約束は守らないといけませんし、嘘をつけば結局それが自分にマイナスのかたちでいつか返ってきます。

私がモモを家族として迎え入れる前に住んでいた家は、動物を飼えない家でした。

そのため、私は、モモを迎える前にペットを飼っても大丈夫な物件に引っ越しました。

日本では近年、猫を飼う人が増えています。

ペット用品の市場も広がっています。例えば、私はキャットフードやトイレ用品、猫のおもちゃなどは「ペットのコジマ」でよく買います。ペットのコジマでは、さまざまな種類のペット用品が揃っているので、モモに合ったものを見つけるのにとっても便利です。

最近「猫カフェ」という、猫と一緒に過ごせる場所も人気で、そこで猫と触れ合うことができます。また、猫にまつわる文化的なアイテムも多く、日本では「招き猫」が有名です。招き猫は、猫が幸福を招く象徴とされています。日本では、猫は幸運をもたらす動物としても知られています。

モモと一緒に過ごす中で、日本の猫に対する温かい文化や、ペットとの生活におけるルールにたくさん触れることができました。

#### ■猫との日常生活

モモとの毎日は、私にとってとても楽しいものです。朝起きると、モモがごはんをねだって私のそばに寄ってきます。いつも朝ごはんをキャットフードで用意しますが、モモは食べるのが早いので、すぐにまた遊びたがります。

仕事が終わって家に帰ると、モモが玄関まで迎えに来てくれることもあり、その瞬間がとても嬉しいです。猫は自由な動物なので、無理に構うことはせず、モモがリラックスしている時はそっとしておくようにしています。

おもちゃで遊ぶ時間はモモにとっても大事です。特に、羽がついた棒のおもちゃがお気に入りです。走り回ったりジャンプしたりして遊んでいます。モモが一番好きなおもちゃはトンボのような「カシャぶん」というおもちゃです。

また、夜は私のそばに来て寝ることが多く、モモが寝息を立てているのを聞くと、とても安心した気持ちになります。

モモの健康を守るために、毎日少し運動させることや、バランスの取れた食事を与えることを心がけています。また、動物病院での定期的な健康診断も欠かせません。日常生活では、特に体調に異変がないかを確認することが大事だと思っています。

猫との生活は予想以上に大変なこともあります。それ以上に楽しく、猫と一緒に過ごす時間が私にとって大切なものになっています。

#### ■猫を飼うためにかかる費用

猫と一緒に暮らすためには、毎月ある程度のお金が必要です。モモとの生活でも、いろいろな場面でお金を使うことがあります。ここでは日本で猫を飼うときにかかる主な費用についてお話します。

まず、毎日の食事代です。モモには主にキャットフードを与えていますが、品質の良いものを選ぶと、1ヶ月で3,000円から5,000円ほどかかります。また、おやつもときどき買いますが、これも少し費用がかかります。

次に、トイレ用品の費用です。猫はトイレを使いますが、猫砂は定期的に交換する必要があります。1ヶ月で2,000円ほどの費用がかかることが多いです。トイレの掃除もしやすいものを選ぶと、快適に過ごせます。

また、モモは家の中で過ごすことが多いので、運動不足にならないようおもちゃを購入しています。おもちゃ代は月に1,000円から2,000円程度です。「ペットのコジマ」でいろいろな種類の猫のおもちゃを見つけることができるので、よくそこで買います。

健康管理のための費用も大切です。定期的に動物病院で健康診断を受けさせると、1回の診察で5,000円から1万円ほどかかります。また、もし病気やケガをした場合は、治療費がさらにかかるともあります。そのため、私はペット保険に加入していて、月々1,900円を支払っています。この保険では、通院1日につき最大1万円、入院の場合は1日最大2万円、手術のときは最大10万円まで補償されるので、モモの健康に何か問題が生じたときも安心です。

これらの費用に加えて、引っ越しのときに「ペットOK」の物件を選ぶため、通常よりも家賃が高くなる場合があります。モモとの快適な生活のためには、こうした費用をしっかりと考えておくことが大切です。

#### ■猫と日本の文化

日本では、猫は昔から特別な存在として愛されてきました。特に「招き猫」は有名で、多くの店や家に飾られており、右手を上げている猫は「お金を招く」、左手を上げている猫は「人を招く」とされています。このように、猫は幸運を呼ぶ動物とされ、日本の文化や日常生活に深く根付いています。

また、最近では「猫カフェ」が人気です。猫カフェは、猫と直接触れ合いながら飲み物を楽しむことができる場所です。日本中にたくさんの猫カフェがあり、特に都会では多くの方がリラクセスのために訪れます。私も、モモを飼う前に猫カフェに行ったことがあり、猫とのふれあいがとても楽しかったのを覚えています。

日本にはまた、猫をテーマにしたさまざまなキャラクターも存在します。例えば、「ハローキティ」は世界中で愛される猫のキャラクターで、日本のポップカルチャーの象徴でもあります。また、マンチカンやスコティッシュフォールドなどの品種も日本では人気があり、ペットショップやインターネットで多くの情報を目にすることができます。

猫にまつわる伝統的な文化だけでなく、現代の日本では猫は家族の一員として、さらに重要な存在になっています。私にとってもモモは大切な家族であり、猫を飼うことで、日本の猫文化をより身近に感じるようになりました。

#### ■モモは私の大切な家族

猫との生活は、私にとってかけがえのないものになりました。モモはただのペットではなく、今では大切な家族の一員です。毎日の生活の中で、モモと一緒に過ごす時間が私にとってどれほど大切か、改めて感じています。

猫を飼うことは決して簡単ではなく、費用もかかりますし、世話をするための時間と努力も必要です。それでも、モモがそばにいてくれることで得られる幸せや喜びは、それらの手間をはるかに上回ります。モモとの生活を通して、動物と一緒に暮らすことの素晴らしさを感じています。

これから猫を飼おうとしている方には、ぜひ、猫がどんな存在になるかをよく考えて、準備をしてから迎えてほしいです。猫は自由な動物ですが、その一方で、飼い主に対しても愛情を返してくれます。モモとの毎日は、そんなお互いの信頼関係の上で成り立っているのだと思います。

もし、猫を飼うことに興味があるなら、ぜひ里親制度を利用することも検討してみてください。保護された猫たちに、新しい家と幸せな生活を提供できる素晴らしい方法です。モモとの出会いが私の人生に与えた影響は大きく、これからもずっと一緒にいたいと思っています。

「私と猫」はいかがでしたか。  
コメント欄から感想をみんなに教えてください。  
それでは、また別の動画でお会いしましょう。



**Japanese-listening-SUSHI**

